



# 中研レポート No.17 (年2回発行)



発行 自動車安全運転センター 安全運転中央研修所

## 貨物自動車運転者課程の紹介

貨物自動車運転者課程では、高度な実務に応じた理論研修と実践的な実務研修の組み合わせによってプロドライバーとしての資質向上のために総合的に学んでいくことができるカリキュラム（4日間コースから3日間コース、2日間コース、1日コースを用意）が組まれています。



### 【交通危険学（運転シュミレーター）】

運転に際して、実際の危険状況に陥らない行動を取るために、運転状況に潜在する様々な危険源について学びシュミレーターを用いて危険感受性を高めます。



### 【ウォーターフェード現象体験】

冠水した道路に進入することで、ブレーキローターとパッドの間に水膜が張り、大幅にブレーキの効きが低下するウォーターフェード現象を安全に体験できます。



### 【ブレーキング】

道路環境の違いによるブレーキ操作を体験し、正しいブレーキのかけ方とその限界を学びます。



### 【高速周回路走行】

走行・コーナーリングのハンドル操作、減速操作車線変更要領、流入・流出要領、高速走行後の速度錯誤等を学びます。

実技研修では、多目的エリア、スキッドコース、高速周回路コースなど、多様なコースを利用して研修が行われます。

研修内容は、日常点検、基本走行など、運転の基本を確認する研修から、ブレーキング、スキッド走行など車の限界を体験する研修、コーナーリングの限界やウォーターフェード現象など貨物車特有の現象を体験する研修、更にドライバーの能力の限界を体験する研修や、夜間における視覚特性を体験する研修も用意されており、安全の限界を体験して運転の基本を再確認することが出来ます。

理論研修では、貨物輸送の問題点を理解し、貨物自動車運転者の果たす役割について学び、更に貨物自動車の特性や特殊現象などを学びます。

また研修を通じて同業他社との交流も大変刺激になるのではないのでしょうか。

安全運転中央研修所での研修はきっとトラックドライバー人生の大きな財産になります。

是非、研修を皆様の交通安全にお役立て下さい。

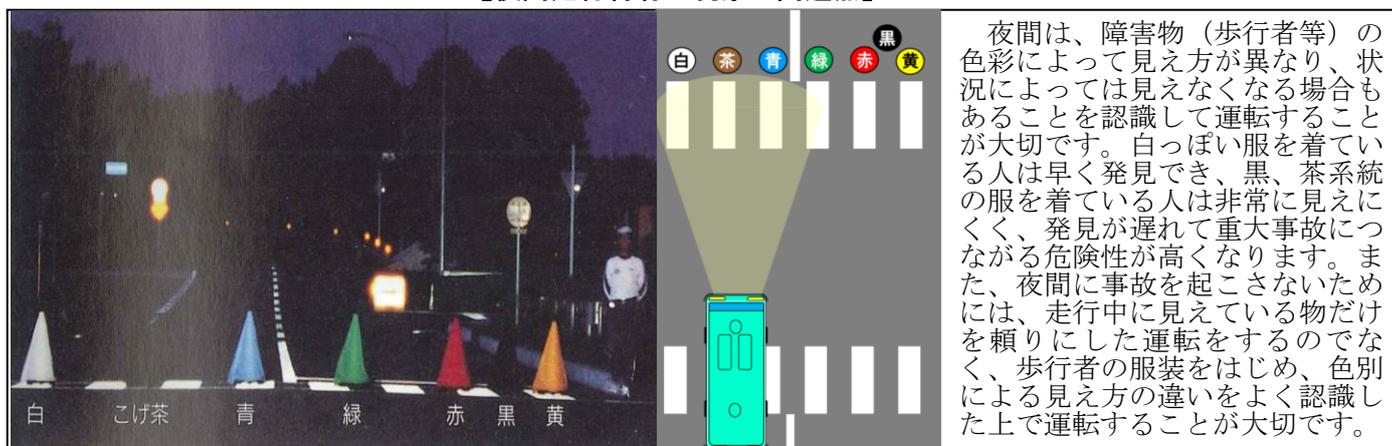
## 夜間の特性「夜間走行」

夜間、交通事故を起こした人の中には、「突然、飛び出してきたので、ブレーキを踏んだが、間に合わなかった。」「ブレーキを踏んだが、思ったよりも車間距離が近すぎて間に合わなかった。」等と言う人がいます。また夜間の死亡事故率は昼間に比べて約3倍も高いことが統計資料からもわかりますが、なぜ、夜間の運転は危険性が高いのでしょうか。

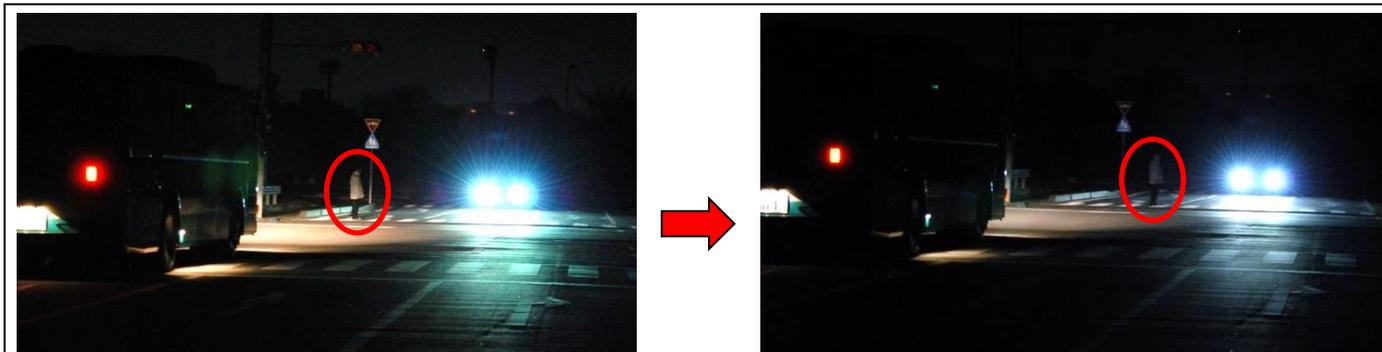
夜間の運転は、視認性が低下したり、対向車の前照灯の影響で歩行者の発見が遅れたりするのはもちろん、特に深夜ともなれば、疲労が蓄積して注意力が鈍り、危険に対する感受性が低下するなど、ドライバーにとって大変不利な条件が重なり、重大事故につながりやすくなります。

こうした夜間走行の特性を理解して昼間走行との違いを体験してみると、知識として知っていても、これが実際の運転行動に活かされていないことがよくわかります。刻々と変化する道路環境に適応した運転をするには、正確な行動をいち早く知り判断、行動することが求められますが、その中で一番重要な認知すること（早く正確に観ること）が夜間では十分にできない（見えていない、見間違い、錯覚等）ことを認識することが重要です。

### 【夜間走行特有の現象と問題点】



夜間は、障害物（歩行者等）の色彩によって見え方が異なり、状況によっては見えなくなる場合があることを認識して運転することが大切です。白っぽい服を着ている人は早く発見でき、黒、茶系統の服を着ている人は非常に見えにくく、発見が遅れて重大事故につながる危険性が高くなります。また、夜間に事故を起こさないためには、走行中に見えている物だけを頼りにした運転をするのではなく、歩行者の服装をはじめ、色別による見え方の違いをよく認識した上で運転することが大切です。



### 【蒸発現象】

夜間、対向車とすれ違う際、自車と対向車の前照灯の光が交錯する部分にいる歩行者などは、ドライバーから見えなくなります。このような現象を「蒸発現象」といいます。歩行者に対して30～50m離れた位置から前照灯を下向きで照射すると歩行者の服装が明るい色（白や黄色等）であっても、対向車の前照灯と交差する中心付近（道路中央付近）で蒸発現象が発生し、歩行者が見えなくなります。仮に、反射ベルトを身につけた歩行者であっても対向車の前照灯により、全く見えなくなる場合もあります。このように道路の中央部分ではたとえ目立ちやすい格好でも発見は困難となります。つまり、歩行者まで30mほど近づかないとどんなに明るい服装をしていてもドライバーから歩行者は見えなくなってしまうのです。

## セーフティポイント

- ① 夜間の運転は、昼間に比べて死亡事故率が高く、非常に危険であることを認識して運転する。
- ② 夜間は、ドライバーがよく見ても確認できない、あるいは見えていても正確に見えていないことなどを理解して「見たもの・感じたこと」のみで判断しない。
- ③ 前照灯は、周囲の迷惑にならない範囲で上向きに点灯し、情報を早く取る。
- ④ 尾灯位置の高い車の後方を走行する場合は、異常接近しやすいので意識して車間距離を長く保つ。

## 教官コーナー

### 黒谷 博士 実技教官

(島根県 益田ドライビングスクールから出向)

中央研修所の教官として気付けば2年が経過しました。

研修生にわかりやすく、楽しみながら、「安全とは何か」を考えてもらい、自ら発見する...その手助けが出来ればと日々奮闘しています。

残す任期もわずかですが、今後も背伸びせず、今の自分にできることに精一杯取り組み、少しでも研修生の心に残る研修を行いたいと思います。



### 野口 雄一 実技教官

(宮城県 R45・日の出自動車学校から出向)

平成26年度に実技教官として出向し、3年目を迎えました。

全国からお越しいただく様々な課程の研修生の皆様に、日本最高の施設をフルに活用した安全運転をつくるための研修を行っています。

これからも自己研鑽を重ね、研修生にとってわかりやすく、心に響くような研修を目指します。



### 錦戸 昌志 実技教官

(大阪府 門真自動車教習所から出向)

中央研修所に出向して、はや2年の月日が経過しました。研修が始まる度に緊張し、研修が終わる度に次回へ向けて反省する日々の連続です。

私たち教官は、反省を次回へ繋げることができますが、研修生の方にとっては1度きりの研修です。

帰任までの残り数ヶ月間、一期一会を大切にし、今の自分にできる全力の研修を、関西風の笑いを交えながら取り組んでいきます。



### 小新井 尚 実技教官

(埼玉県 レインボーモータースクールから出向)

自動車安全運転センター 安全運転中央研修所の教官として3年目を迎えました。

最大級の交通教育施設の中で、研修生の皆さんに分かりやすい言葉でお伝えし「安全な運転とは何か」を実技を通じて理解していただくために日々全力で取り組む毎日です。

残りの任期は、研修生の皆さんに「感動」していただけるよう自己研鑽に努めるとともに精一杯努力していきます。



### 瀬瀬 丈 実技教官

(愛知県 名鉄自動車学校から出向)

中央研修所の実技教官として採用されてから、2年の月日が経過しました。

2年もの間にあらゆる研修に携わってきましたが、研修生の方により効果的な研修を行うにはどうしたらよいか、その難しさを研修を行うたびに痛感し、中央研修所の研修の奥深さに四苦八苦しております。

研修生の方の記憶に残るような研修ができるように、その理想に少しでも近づくべく、日々自己研鑽していきたいと思っております。



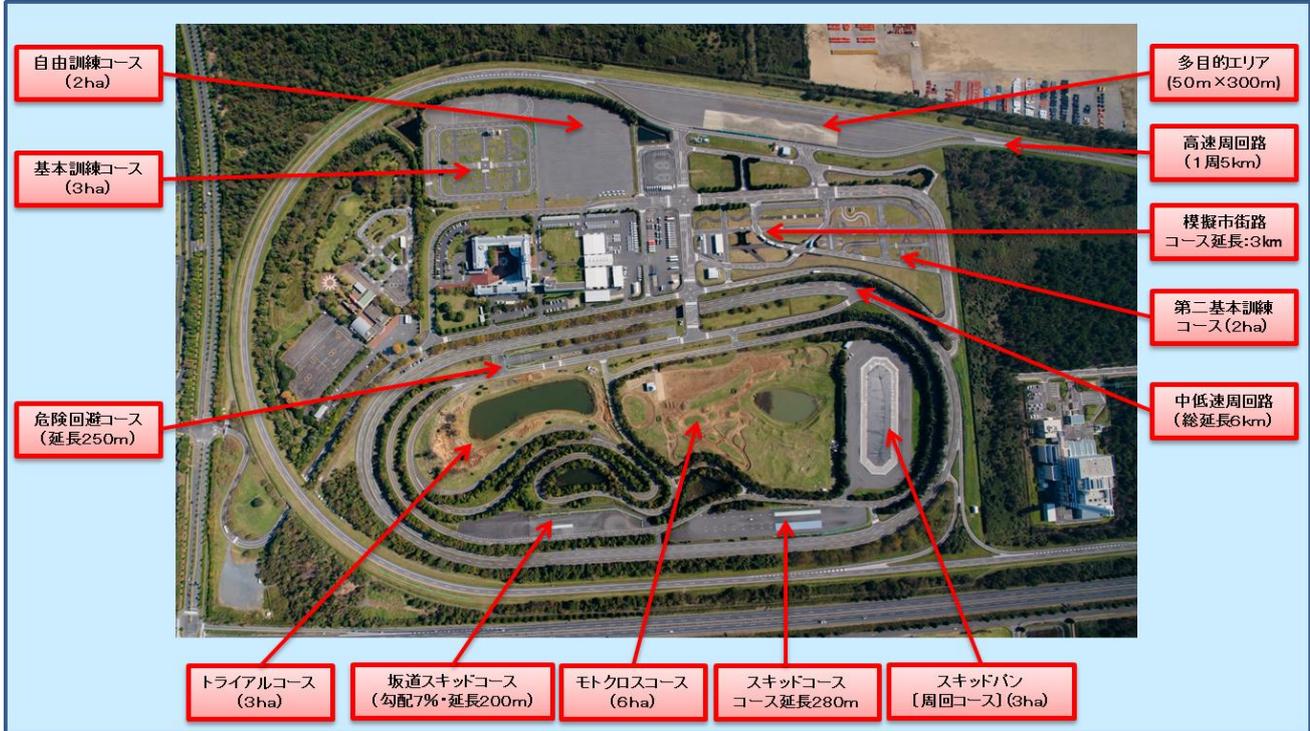
## 研修施設等の貸出

安全運転中央研修所では、東京ドーム約20個分に当たる広大な敷地内に「運転上の危険」を安全に体験できる13種類のトレーニングコースを備えています。

これらのコースは、研修が行われていない時間帯は施設そのものの貸出を行っており、これまでも実験、研究、撮影、競技大会、訓練などで多くの企業や団体の皆さんにご利用いただいています。

施設の貸付条件、貸付料については管理部（029-265-9555）までお問合せください。

### 1 13種類のトレーニングコースの貸出



### 2 多種多様な車両の貸出



### 3 教官による役務



自動車安全運転センター 安全運転中央研修所

〒312-0005 茨城県ひたちなか市新光町605番地16

TEL029-265-9560 FAX029-265-9552

<http://www.jsdc.or.jp>

